

令和4年度 学校教育自己診断まとめ

【回答数（回収率）】

	在籍数 (12月1日現在)	生徒回答数	保護者回答数	教員回答数
1年生	210	178(84.8%) (昨年度 83.5%)	78(37.1%) (昨年度 53.9%)	100(100%) (昨年度 96.8%)
2年生	183	160(87.4%) (昨年度 82.3%)	62(33.9%) (昨年度 45.3%)	
3年生	159	114(71.7%) (昨年度 90.1%)	45(28.3%) (昨年度 42.4%)	
合計	552 (昨年度 559)	452(81.9%) (昨年度 85.2%)	185(33.5%) (昨年度 47.6%)	

【はじめに】

昨年度同様、コロナ禍での体育祭や文化祭などの学校行事を実施することになった。少しずつではあるが、従来の形に近いものが実施することができたのはよかった。

また、コロナ関係での出席停止での生徒への学力保障として、一人一台端末（Chromebook）を活用した。まだまだ課題等もあるが、少しずつ対応しているように感じている。学年や学校全体での臨時休業は行ってはいない。

回収率において、保護者の数値が10%以上減少している。今後、回収率を上げていく取り組みが今後の課題である。

【アンケートの変更点】

生徒向け

改訂前	改訂後
	㊸長吉高校では一人一台端末（Chromebook）を効果的に活用している。

保護者向け

改訂前	改訂後
	㊹保護者として、5月、11月の授業参観や文化祭に1回以上参加したことがある。

【学校経営計画の評価指標に挙げた項目について】

資料 3 - 1

<生徒対象>

- ③「授業はわかりやすい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて令和6年度までに80%にする。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
85.9%(88.4)	85.6%(79.2)	81.6%(67.7)	84.7%(78.4)

- ⑥「私は長吉高校に入学して自分の考えや意見を伝える力が付いたと思う。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて63%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
69.1%(64.0)	77.6%(60.4)	70.1%(65.2)	72.4%(63.2)

- ⑬「先生は悩みや相談にいていねいに応じてくれる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややそあてはまる」併せて65%以上をめざす。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
78.6%(58.1)	81.9%(63.1)	75.5%(63.2)	79.0%(61.4)

- ⑱「制限された中ではあるが、学校行事に満足している。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて70%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
80.3%(80.8)	85.1%(67.8)	83.3%(65.2)	82.7%(71.2)

- ⑲「自分からあいさつやお礼を言うことができる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて80%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
89.3%(84.9)	83.8%(81.8)	86.0%(83.2)	86.5%(83.4)

- ⑳「長吉高校では外国の文化に触れる機会が多く、多文化共生が進んでいる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて令和6年度には80%にする。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
89.3%(73.9)	83.8%(73.9)	86.5%(69.6)	86.5%(72.5)

- ㉔「エンパワメントスクールに来て良かった。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて70%以上の維持。

1 年生	2 年生	3 年生	合計
90.5%(77.9)	83.8%(77.8)	63.1%(71.6)	81.2%(75.9)

<保護者対象>

- ⑰「担任やその他の先生に相談しやすい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」併せて 67%以上の維持。



1 年生	2 年生	3 年生	合計
62.8%(72.0)	75.8%(59.7)	80.0%(71.2)	71.3%(68.1)



※「わからない」 0.0%、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」 26.5%

- ⑱「エンパワメントスクールに入学させて満足している。」に対して、「よくあてはまる」「ややあてはまる」は



1 年生	2 年生	3 年生	合計
83.3%(82.8)	83.8%(73.2)	82.2%(78.1)	83.3%(78.6)



※「わからない」 0.0%、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」 14.6%

<教員対象>

- ③「今年度、電子黒板等 I C T機器を活用し、授業を行った。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は



よくあてはまる	ややあてはまる	合計
73.0%(63.3)	17.5%(20.0)	90.5%(83.3)



【教育庁等の指示により、この数年間で追加した項目について】

◆いじめについて

<生徒対象>

- ⑭「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は



1 年生	2 年生	3 年生	合計
80.9%(57.6)	78.2%(57.0)	77.2%(55.5)	78.9%(56.8)



<保護者対象>

- ⑫「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」に対して「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は



1 年生	2 年生	3 年生	合計
70.5%(46.8)	74.2%(47.6)	71.1%(48.0)	71.9%(47.4)



※「わからない」 0.0%、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」 20.0%

<教員対象>

- ⑬「生徒間のいじめや差別につながる行動については未然防止に努め、事象が起きた場合には丁寧にかつ迅速に対応している。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

よくあてはまる	ややあてはまる	合計
63.5%(51.7)	34.9%(46.7)	98.4%(98.4)



◆校則・指導について

<生徒対象>

- ⑯「校則や指導について、納得できる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
51.7%(62.8)	55.7%(47.0)	52.6%(40.0)	53.3%(50.4)



<保護者対象>

- ⑭「学校の校則や指導方針に共感できる。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
69.3%(75.6)	72.6%(64.6)	75.6%(64.4)	71.9%(68.2)



※「わからない」 0.0%、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」 23.7%

◆ 学校へ行く楽しみについて

<生徒対象>

- ⑳「学校に行くのは楽しい。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は

1年生	2年生	3年生	合計
69.1%(62.8)	65.0%(60.4)	70.2%(52.2)	67.2%(58.5)



<保護者対象>

- ㉑「子どもは学校に行くのを楽しみにしている。」に対して、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」は、

1年生	2年生	3年生	合計
74.4%(78.3)	74.2%(62.2)	71.1%(53.5)	73.6%(64.5)



【結果と分析】

＜生徒向け＞回答数 452（昨年度 476）

- 「③長吉高校の授業は、わかりやすい。」については、
全体として 84.7%で、目標の 80%を大きく上回った。各学年で 80%を上回っており、教職員の授業改善や工夫が生徒に効果的に作用されていることがわかる。また、授業等で効果的に Chromebook や ICT 機器を活用している（教員は 90%以上、生徒アンケートでは 80%以上）ことも、この結果に表れている。

- 「⑥長吉高校に入学して、自分の考えや意見を伝える力がついたと思う。」については、
全体として 72.4%で、目標の 63%を大きく上回った。学年が上がるたびに増えていることは「正解が一つでない問題に取り組む」授業のエンパワメントタイムが各学年にあることが、よい結果に表れている。

- 「⑬悩みや相談に、ていねいに応じてくれる先生がいる。」については、
全体として 79.0%で、目標の 65%を大きく上回った。特に 2 年生は、昨年時（1 年生）のとき 58.1%であったが、81.9%と大きく上回った。昨年は判断できないと答えた生徒が 26%あったが、今年は 0%であった。生徒の悩み対してきめ細かい対応を、教員全体として行っている成果だと思われる。

- 「⑱制限された中ではなるが、学校行事や HR は楽しい。」については、
全体として 82.7%で、目標の 70%を大きく上回った。学年変化では見ると、昨年より増加しているので、コロナ禍ではあるが、少しずつ学校活動も緩和されていくなかで、できることが多く（元の形）なったことが数値の上昇につながったと考えられる。

- 「⑲自分からあいさつやお礼を言うことができる。」については、
昨年とほぼ横ばいの数値で、目標の 80%を上回った。毎朝の校長、教職員による正門での声掛け等、学校全体での取り組みによる成果だと思われる。ただ、1 年生の数値が一番高くなっているので、その数値を下がることのないように取り組んでいかなければならない。

- 「㉒外国の文化に触れる機会が多く、多文化共生が進んでいる。」については、
全体として 86.5%で、目標の 80%を上回った。昨年度は減少していたが、多文化共生を大きく推進するような特別な活動が、少しずつではあるが、元に戻ってきていることが影響していると考えられる。

＜保護者向け＞回答数 185（昨年度 266）

- 「①学校はエンパワの教育方針を伝え、情報提供の努力をしている。」については、
H29 年度から 63%→68%→74%→72%→76%で、今年度は 85.4%と概ね高い数字を維持できている。学校からの連絡方法に、ホームページやライデンスクールに加え、今年度から LINE を導入した。これらのツールをうまく活用していることが、一定評価されたと思われる。
- 「⑩学校はていねいな進路や職業などについて丁寧な指導を行っている。」については、
H29 年度から 56%→64%→58%→64%→61%で、今年度は 74.5%であった。
1, 2 年生の早い段階からの情報提供が課題であったので、今年度は保護者向け懇談会を早い時期に実施するなどの取り組みを行った。その結果、1 年 64.4% (R 3 年度 49.5%)、2 年 82.2% (R 3 年度 64.7%)、3 年 82.2% (R 3 年度 68.5%) と高い数字となった。
- 「⑰担任やその他の先生に相談しやすい。」については、
H29 年度から 60%→59%→62%→66%→68%で、今年度は 71.3%と上昇している。
1 年 62.8%、2 年 75.8%、3 年 80.0%で、学年を重ねるに従い保護者の信頼が増していることがわかる。また、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と否定的な回答は全体で 19.3%→5.4%と大きく減少している。保護者との信頼関係を築いていけているのではなかろうか。

＜教職員向け＞ 回答数 63（100%）

- 「①生徒は授業にまじめに取り組んでいる。」については、
H29 年度から 42%→44%→41%→53%→58%で、今年度は 65.0%と増加傾向となっており、生徒への質問「①私は授業にまじめに取り組んでいる」は、H29 年度から 76%→79%→78%→86%→86%で、今年度は 88.9%、「②長吉の生徒は授業にまじめに取り組んでいる」は、H29 年度から 44%→52%→60%→63%→54%で、今年度は 56.7%であった。教職員と生徒の間で認識の差は大きい。
- 「⑥カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。」については、
H29 年度から 78%→87%→72%→77%→71%で、今年度は 84.1%であり、大幅に増加した。
- 「⑯生徒や保護者の意見を聞く姿勢がある。」については
H29 年度から 87%→84%→90%→90%→92%で、今年度は 95.2%と高い数値を維持しているが、生徒、保護者への質問「担任等と相談しやすい」は生徒が 79.0% (R 3 年度 62%)、保護者が 71.3% (R 3 年度 68%) で教員の思いと生徒、保護者の受け取り方には差があるが、昨年度より差縮まっている。
- 「⑰わかる喜びや学ぶ意欲を呼び起こし生徒の力を引き出す学校である。」については、
H29 年度から 50%→63%→64%→61%→85%で、今年度は 98.0%で大幅に増加している。エンパワメントスクールに適した学校づくりに対しての共通の認識が持っていると考えられる。
- 「⑲学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」については、
H29 年度から 75%→69%→72%→63%→90%で、今年度は 90.5%と高い数値を維持している。一昨年からソーシャルディスタンスの必要性があったが、昨年度からはうまく対応し、教員間で日常的に情報共有する機会や時間がとることができたと考えられる。
- 「⑳教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」については、
H29 年度から 58%→65%→62%→50%→87%で、今年度は 84.1%とやや減少した。学校教育自己診断やアンケート、提案などを具体的な指導方針や方法として速やかに盛り込んでいったことが一定評価されたと思われる。

<教育庁等の指示により、この数年間で追加した項目について>

◆いじめについて

・生徒対象

「⑭いじめについて、困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」については、

H29 年度から 60%→66%→64%→70%→57%で、今年度は 78.9%と大きく増加している。昨年度の低い数字を受けて、いじめや差別に対して教職員がアンテナを張り、丁寧に対応していることで生徒の教職員に対する信頼が少しずつ大きくなっていることの表れだと思われる。

・保護者対象

「⑫いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」については、

H29 年度から 37%→45%→44%→47%→47%で、今年度は 71.9%であった。今年度、「わからない」と回答した保護者 40%であったが、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」は 20.0%で減少した。その部分が肯定的な回答になったと思われる。

・教職員対象

「⑬生徒間のいじめや差別につながる行動については未然防止に努め、事象が起きた場合には丁寧にかつ迅速に対応している。」については、

今年度は 98.4%（R3 年度 98%）で高い数値を維持している。たが、教職員と生徒の意識に大きな差がある。否定的な回答した生徒は、今年度は 20%（昨年度 14%）と増加している。すべての生徒が安心した学校生活を送れるようさらに努めなければならない。

◆校則・指導について

・生徒対象

「⑯学校の校則や指導について納得できる。」については、

1 年生 51.7%、2 年生 55.7%（1 年次 63%）、3 年生 52.6%（2 年次 47%）と 3 年生については、微増している。生徒全体としては 53.3%（昨年度 50.9%）で、半数程度の生徒が否定的な回答をしている。引き続き校則や指導の意味を丁寧に説明し、ルールや校則が自分たちのためであり、自分を守ることにつながると思えるようなルールや指導内容を考えていくことが課題である。

・保護者対象

「⑭学校の校則や指導方針に共感できる。」については、

1 年生 63.9%、2 年生 72.6%（1 年次 76%）、3 年生 75.6%（2 年次 65%）と一定の理解は得ている。保護者の方の学校の校則や指導方針についての共感は少しずつ高まっている。

◆学校へ行く楽しみについて

・生徒対象

「⑰学校へ行くのは楽しい。」については、

1 年生 69.1%、2 年生 65.0%（1 年次 63%）、3 年生 70.2%（2 年次 60%）で、全体は 67.2%（昨年度 59%）と増加している。

・保護者対象

「④子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」については、

1 年生 74.4%、2 年生 64.2%（1 年次 78%）、3 年生 71.1%（2 年次 62%）で、全体は 73.6%（昨年度 66.5%）と増加している。

生徒、保護者ともに 2 年生では少し数値が低くなる傾向がある。

◆エンパワメントスクールへの満足度

・生徒対象

「⑭エンパワメントスクールに来てよかった。」については、

1年生 90.5%、2年生 83.8%（1年次 78%）、3年生 63.1%（2年次 78%）で、全体は 81.2%（昨年度 76%）と大きく増加している。特に1年生が 90%以上と高い数値が出ている。ただ、3年生の数値が 10%以上減少している原因は追究しなければならない。

・保護者対象

「⑮子供をエンパワメントスクールへ入学させて満足している。」については、

1年生 83.3%、2年生 83.8%（1年次 83%）、3年生 82.2%（2年次 73%）で、全体は 83.3%（昨年度 79%）と増加した。

令和4年度〈全体を通して〉

・昨年度に引き続きコロナ禍での学校生活が余儀なくされていたが、生徒、保護者、教職員もいい意味で順応し、少しずつ制限が少なくなっていくにつれて、学校行事も従来の形を戻しつつあった一年であった。また、コロナがもたらした部分は悪い部分ではなかった。昨年度の臨時休業等で学習面での保障の部分において、ICT化が急速に進み、そのことは授業改善に大きな影響をもたらした。結果、生徒が「授業が分かりやすい」と答えた生徒が 80%を超えた数値となっている。

全体として数値が増加していることは、学校側の取り組みや指導方針が、ある程度生徒や保護者に理解されてるこ考えられるが、その分、学校側に対する期待が大きいことの現れであると考えられる。特に1年生の数値が高いことが、そういったことをあらわしている。この1年生での数値を落とすことなく、3年間維持することが重要であると考えられる。そういった取り組みを学校全体で考え、実行していくことが今後の課題である。

・教育庁再編成備課の分析によると、「③長吉高校の授業はわかりやすい」「⑥自分の考えや意見を伝える力がついた」「⑯先生の指導は納得できる」「⑰学校行事に満足している」等の項目と「学校満足度」を問う項目は相関関係があるといわれて、今年度は③⑥⑯⑰のすべての項目について増加しており、満足度も 75.9%→81.2%となり、初めて 80%を超える結果となった。エンパワメントスクールの達成目標である「エンパワメントスクールに来てよかった」が 80%以上となり、今後、この数字を落とすことなく、生徒・保護者の意見を聞きながら工夫した取り組みを行う必要がある。